



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2022年03月14日 第1060号「週刊五十嵐レポート」

## 疫病流行が変えた社会

3月11日付朝日新聞、投資コラム「歴史に学ぶコロナ禍の後」より。市場の長期的な動向を見極めるには、新型コロナのパンデミックの先で、世界の姿がどう変わっていくか想像することが極めて重要。

今回のコロナ禍は100年に一度の出来事。現代を生きる人には経験もなく、終息後を想像するのが難しいと聞く。20世紀はじめのスペイン風邪や中世に繰り返されたペストなど度重なる疫病の流行を人類が乗り越えたのも事実。

過去、疫病によって社会に起こる変化には驚くほど共通点がある。1. 実質的に働ける労働者の減少。2. それに対して企業は資本装備率を上げ、生産性の向上を試みる。(資本装備率:労働量に対する資本量の比率。正しくは労働の資本装備率。資本設備額(総資本額)÷雇用労働者数。資本装備率の上昇は生産力の増大を意味する。ブリタニカ国際大百科事典より)

ペストの時代、土地の集約化が進み、更なる生産性向上が産業革命につながる。スペイン風邪では、工場のオートメーション化が始まり、大量生産時代へ。両時代とも生産資源の集約化、資本の集中化を加速させた。

コロナ禍では、職場への出勤が大きく減り、生産活動が一時的に抑制された。これを契機に企業はデジタル技術による変革を進め、ITや通信分野の投資を加速。生産や資本が変われば、人々の暮らし方も変わる。リモートワークの進展、ワーク・ライフ・バランスの重視、ネットビジネス化、キャッシュレス化が進む。(ワーク・ライフ・バランス:「仕事と生活の調和」。働きながら私生活も充実させられるような職場や社会環境を整備する)。

小さな会社にとって、生産性向上(資本装備率を高める)とは、1人当たり粗利益額を同業者比1.2~1.5倍に、1人当たり純利益を同業者比3倍以上にすること。つまり「利益性の原則」を理解し、実践すること。強いモノ作り、小規模で1位を獲ること。それを積み重ねていくことが高収益企業につながる。それとともにコロナ禍によって急速に発展する技術をいかに自社に合った取り組みが出来るかが、生産性向上につながり、ワーク・ライフ・バランスにも直結する。知恵と工夫次第で面白くなる。

ちよつと  
気になる出来事

日経トップリーダー2月号より。1995年「芸能人は歯が命」のCMで一世風靡した「アパガード」(株)サンギ)。93年売上30億円が96年には140億円超まで急伸。しかし96年をピークに売上は下降線を辿る。創業社長は事業拡大を、米国にまで進出。98年売上は最盛期の1/4まで減少。創業者は「もうおしまいだ」と頭を抱えた。

そこに奥さんが入社。経営は素人だが、証券アナリストのキャリアがあった。次々と経営改革を断行していく。1. 米国の撤退。2. 14ブランドを3ブランドに絞り込む。3. 価格交渉は受け付けない。高価格帯の維持。値下げはしない。

「商品価値がしっかり伝われば、高価格商品でも支持される」ことを証明。当社の商品の良さを分かってもらう。顧客ターゲットを歯の健康や美白に関心が高いユーザーに絞り込む。精力的にサンプリング活動に取り組む。2008年に売上は増収に転じ、10年には無借金経営。16年奥さんが社長。

帝国年鑑によると、2019年3月期売上5,052、当期純利益601(百万円)従業員80名。1人当たり純利益7.5百万円の高収益企業。

小さな会社のヒントがある。



一口メモ  
知識

## 争いを防ぐ

天と水と違い行くは訟(しょう)なり。

天は上にあり、水は下へと流れ、向かう方向が異なる。人と人の関係でも、意向が違えば必ず争いが起こる。

「天」は剛強、「水」は陰阻(けんそ)を表すが、一方が強い性格で一方が陰しい性格であれば、争いが起こりやすい。

剛強な相手には強くあたらず、柔軟に対応する術を考えなければならない。人間関係で訴訟になる場合の多くは未熟さからであり、できるかぎり防ぎすぎだと易经はいう。

「易经一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5  
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com



新経営の  
志手帳